

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら草加面新田教室

保護者等数(児童数) 14 回収数 14 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14				<ul style="list-style-type: none"> ●実際に体験会に参加し確認、外出報告も受けたから。 ●すごくいいと思う。 ●お散歩地域の図書館などへの外出の回数が多く、色々な体験をしている様子なので。 ●毎日違うプログラムなのでこぼんへ行くのが楽しいようで安心しています。少し遠い公園や児童館は家では行けないので助かっています。 ●走ったりでき、広々していると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テーブルの位置や椅子の配置を整え、活動のスペースを確保していきます。 ●公園や児童館、図書館等、地域の公共施設等も積極的に活用しながら、活動スペースを広げていきます。 	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11			3	<ul style="list-style-type: none"> ●現場責任者の方と療育方針、経歴など確認できたから ●とても細かく気を配りながら見てくださっていてありがとうございます。連絡帳もいつも丁寧に書いてくださり、子供の様子がよく分かるので安心しています。 ●先生方も付きっきりで見て下さり感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本部に在籍している専門職の方に知見を求め、より細かく児童さんを見ていけるように対応いたします。 ●保育士を中心にスタッフで相談しながら、発達段階に合わせた支援を行います。 	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14				<ul style="list-style-type: none"> ●体験会で確認できたから ●すごくいいと思う ●靴入れなどに顔写真が貼ってあり、本人も分かりやすくして良いなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●来室時の準備の導線をカーペットで色分けし、次の行動を分かりやすく整えています。 	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14				<ul style="list-style-type: none"> ●清掃が行き届いている様に感じた ●消毒も徹底していると聞いて安心しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●清掃・消毒をこまめに行い、安心して生活して頂ける様に努めています。 ●夜間に室内をオゾン殺菌する事で、空間全体が清潔な空間となるように配慮しております。 	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13			1	<ul style="list-style-type: none"> ●すり合わせ、話し合いの場を持たれたから。 ●契約の際に普段の様子、これからどんな風に成長して欲しいかよく聞き取って下さいました。 ●イトレーニングも家ではなかなか進みませんが、こぼんさんで時々成功したと聞いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●面談やお聞き取りシート等で課題を確認しながら、児童発達支援計画を作成できるように努めて参ります。 ●児童館を中心に、現場での児童さんの様子をスタッフが確認しながら、ニーズと合っているかを適切に分析して支援計画に反映して参ります。 	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13				1	<ul style="list-style-type: none"> ●すり合わせ、話し合いの場を持たれたから。 ●毎回子供の成長に合わせて的確な支援計画を立ててくださるので、一緒に成長を見てくれるなと思い心強いです。 ●細かく目標も立てられ、とても計画的で息子に合っていると思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童発達支援計画の枠内に、発達支援の具体的な項目が示され、一目で分かりやすいように整えています。 ●今年度より本人支援を中心に、家族支援や地域支援の内容を盛り込んだ支援計画を作成しています。引き続き児童さんに合わせた支援内容を設定いたします。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13				1	<ul style="list-style-type: none"> ●面談はしっかりお時間をとっていただき、たくさん相談させてもらいありがとうございます。お便りも毎月楽しみにしています！ ●送迎の際にその日の様子を細かく伝えて下さっています。 ●写真を見てどういった活動が分かりやすく、本人も笑った表情で嬉しく思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援計画を確認してから支援に当たる事で、計画に沿った支援を行うことに繋がっております。 ●連絡帳の背表紙に支援計画を掲示する事で、スタッフも常に確認できるよう環境を整えています。 ●支援計画を上回る成長が見られた場合、予定よりも早い段階で計画の見直しを行い、新たな支援計画を作成いたします。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	1			1	<ul style="list-style-type: none"> ●実際に報告もらうから ●家ではあまり公園などで他のお子さんと遊んだりしていないので、一緒に遊んだりゲームも学べて感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童さんが安心して楽しめる慣れた活動と、成長に合わせた新しい活動を組み合わせて、活動内容を充実させてまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	1			4	<ul style="list-style-type: none"> ●体験会に参加させていただきました ●リトミックの外部講師の方をお呼びするプログラムはとてもいいと思いました！ ●普段行かない公民館等も行って、本人も楽しんでいると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童館や公園などで、地域の方と積極的に交流を図っています。 ●児童さんの通っている幼稚園や保育園の先生と交流しながら、情報交換をしています。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14					<ul style="list-style-type: none"> ●説明を受けた ●契約の際に説明していただきました。 ●自己負担がないので感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●契約の際に分かりやすく説明するように配慮するとともに、変更等があった場合には適宜お伝えして参ります。
保	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13				1	<ul style="list-style-type: none"> ●説明を受けた ●分かりやすくお話をしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●面談時など具体事例をお伝えしながら共有しております。 ●お聞き取りシートで事前に頂いた情報を基に支援計画を作成し、面談時に計画を提示し、確認しながら説明を行っております。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10				4	<ul style="list-style-type: none"> ●まだ始まったばかりだから。 ●迅速にご対応下さりありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●具体的なペアレント・トレーニングは行えていませんが、ご家庭での困りごとに対して、提案という形でお話させて頂いております。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13				1	<ul style="list-style-type: none"> ●面談の機会があるから。 ●いつも送迎時や連絡帳に変わったことや心配事を伝えさせてもらっているため、親だけ抱えこむことも感謝しています。 ●毎日その日の行動が分かるので助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●面談や送迎時、1日の出来事や課題、出来た事等をお話する機会を設けております。 ●連絡帳や送迎ではお伝えしきれなかった内容があれば、LINE公式アカウントを使用してお伝えする事もあります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				3	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的にお話が詳しく聞けるので、良いなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者の方からお話頂いた内容を、スタッフ全員で共有していきます。 ●面談時には現場スタッフも同席させて頂き、保護者の方の思いを直接お聞かせ頂く事により、支援内容に反映させております。

保護者への説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ●まだ始まったばかりだからわかりません。 ●保護者同士の交流の場が欲しいです。なかなか同じ境遇の保護者のかたと出会う機会がないので情報交換などできたらと思います。 ●コロナもあり、他の保護者はまだお会いした事はないです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ZOOM保護者会の実施や、児童さんの様子を見ながら保護者会が実施できるように検討していきます。 ●保護者会以外にも、保護者同士が話をする機会を設ける方法を検討します。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13		1	<ul style="list-style-type: none"> ●要望など聞き取りがあるから ●欠席の連絡や利用日の変更など、すぐにLINEでやりとりができるので助かっています。これからもよろしくお願ひします。 ●LINEでご対応して下さり助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●LINE公式アカウントを開設した事により、保護者の方の相談や申し入れを速やかに確認できるようになりました。 ●頂いた情報を速やかに社内で情報共有することにより、迅速に対応できるよう意識しております。 ●送迎時に伺った相談や申し入れに関しては、その場で返答せず一度持ち帰り、管理者や児発管より改めて連絡をさせて頂くよう統一しております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13		1	<ul style="list-style-type: none"> ●要望の聞き取りがあるから ●送迎時では先生方いつも笑顔なのでこちらも安心して送り出しています。連絡帳も毎回分かりやすく丁寧に書かれているので帰宅後読むのが楽しみです。 ●ユースチャーター等で本人も意思の疎通や理解がしやすいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童さんに合ったコミュニケーションを考え、意思疎通を図っています。 ●本人のタイミングに合わせてコミュニケーションを図る事で、本人の持つ力を発揮できるように支援させて頂いております。 ●連絡帳をひらがなで記載する等、保護者の方が確認しやすい方法でコミュニケーションを取れるよう配慮しております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12		2	<ul style="list-style-type: none"> ●まだ始まったばかりだから。 ●写真は家では見せない子供の表情がたくさんあるので、ついつい毎回たくさん買っています。月1つ写真も撮ってくださりありがとうございます！ ●月に1回頂けるこぼれだよりが楽しみです。 	<ul style="list-style-type: none"> ●活動内容を写真に撮る事で、保護者の方にも活動内容をわかりやすく伝えるツールとなっております。 ●毎月発行している教室だよりでは、掲載する写真を増やした事により、活動内容や楽しんでいる様子が見て分かりやすい様に工夫しております。 ●SNSを使用して活動内容を引き続き発信して参ります。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14			<ul style="list-style-type: none"> ●個人情報も十分注意して頂けると思います 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き社員への、個人情報の取り扱いの注意喚起を徹底して参ります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13		1	<ul style="list-style-type: none"> ●防災訓練は実際地震が起きたときにお家で実践してくれました！ ●防災訓練も良くとトレーニングしてると聞いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月1回防災訓練を実施しております。 ●防災訓練の中に、防犯や不審者対応等の項目も設けて取り組んでおります。 ●嘔吐が起こった際の対応方法を、スタッフで共有しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12		2	<ul style="list-style-type: none"> ●また始めたばかりだから ●定期的にあると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月1回防災訓練を実施しております。 ●地震・火災・水害等テーマを決めて取り組んでおります。 ●毎月訓練を実施することで、児童さんが避難に対して意識できるようになってきました。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12		1	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しそうにしているから ●毎回とても楽しみにしています！お友達や初対面のお友達との関わり合いがとても上手になってきたなと思います。 ●お友達と楽しく過ごしていると感じます。 ●毎回数(送迎車)が見えると笑顔になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●集団療育を活かし、児童さん同士の関わりや遊びの幅を広げ、児童さんが楽しく通って頂ける様に工夫しています。 ●児童さんが「楽しい」「また来たい」と思ってもらえるような環境作り、雰囲気作りに努めて参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	13		1	<ul style="list-style-type: none"> ●対応や説明が丁寧で適切だから ●いつも本当にありがとうございます！こぼれだよりに書いて出来るようになったことが本当に沢山あり、想像以上に成長してくれて先生方のお陰です。いつもご迷惑ばかりかけていますが、これからも宜しくお願いいたします。 ●自分でやろうとすることが増えました。(お着替えや食事など)公園では好きな滑り台やブランコを楽しんでいるようで通所を決めて良かったと思っています。 ●通うようになってから自傷行為がなくなり、本を眺んだり絵を描いたり、暑れる事もなくなりました。とても感謝しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童さんの好きな事や得意な事を活かしながら、更なる可能性を探っていきます。 ●リトミックを中心に、児童さんの笑顔が増えるような活動を行ってまいります。 ●自分で出来る事を増やせるような支援を心掛け、小さな『出来た』を積み重ねながら自立へ向けた活動に取り組んで参ります。出来た時には思い切り褒めて、達成感や自己肯定感に繋がるような支援を行って参ります。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3 月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら草加面新田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		<ul style="list-style-type: none"> ●テーブルや椅子の配置で、利用人数や状況に合わせて環境を整えています。 ●クールダウンができるよう、部屋の一部分を壁で区切っています。 ●空間を分けながら、安全に過ごせる様にしています。 ●くずれやすい到着時に気になるものは置かない。テーブルや椅子は必要な時に出し入れしている。室内の児童の興味を引くようなものも、児童にあわせて毎日、変化させていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフが児童さんの動線を意識して立ち位置を考え、室内での活動がスムーズに立ちまわすように配慮していきます。 ●ホワイトボードにマグネットに貼ってあるモノを落とす児童がでてきたので、おじて固定するなどの対策が必要となってきています。
	2 職員の配置数は適切であるか	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフ間で役割分担をしています。 ●活動内容に合わせて、現場スタッフの人数を変えながら、過剰支援にならない様にしています。 ●休憩時間の分散したり、集団を纏める為に児童数より少ない職員の数が現場に入ることによって集団を纏める能力をあげています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体を把握できるような視野を広く保ち、スタッフ間のアイコンタクトで状況を共有できるようにする必要があります。 ●業務がスムーズに回るように、児童さんが少ない日に業務を進める等の工夫は必要です。 ●本部からの知見も頂いていますが、専門職の方の採用もあつと心強い為、採用を進めていきたいと考えています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●テップの活用、顔写真付きの名札、見本を示す絵カードを利用し、児童さんのわかりやすく常に念頭に入れた環境設定に努めています。 ●本棚やおもちゃ箱が児童から見えないように配置していたり、活動で使いたい教材を壁に掲示しています。死角があるところに、ミラーを置いたり、保護カメラを使って児童が見えるようにしています。 ●入口から入ってお支度→手洗い→検温までが一目で分かるように、マットの色を変えた動線を用意しています。 ●棚や靴箱の高さや食事の席など、特性や能力に合わせた配置をしています。また、危険が予測出来る場所にはグッズを活用して、けがや転倒に備えています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●目で見つかる活動を多く取り入れていきます。 ●トイレ横のホワイトボードを児童さんが叩いてしまふ、設置物が落下して危険な時があります。勢いあまってぶつかってしまった際も同様に危険が及ぶ可能性がある為、必要のないものはなるべく外しておきます。 ●言葉の理解や発語に課題がある児童さんには、絵カードテップを活用する等、支援方法を工夫していきます。 ●いまは環境として落ち着いているので特になんとも考えていません。春になると、教室内をワクワクするような季節ごとの装飾を取り入れていきます。

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●毎日、支援終了時には室内を清掃し、玩具や教材の点検や消毒をしています。オンゾで空間除菌をしています。●車やチャイルドシートも消毒や清掃、乗車時には手指消毒をしています。 ●新型コロナウイルス感染症も5類にはなりましたが、衛生管理や清掃作業は変わらず実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童さんが唾を吐いた時の対応が不十分な時があります。スタッフ間で対応方法を統一していきます。 ●職員の負担軽減のためには、賈を落とさずに清掃の簡略化が求められます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		<ul style="list-style-type: none"> ●ほろすミーティングやケース会議など、スタッフ同士で意見交換の場を設けています。 ●ヒヤリハットや日報など日々書き留めている為、その日勤務でない職員も振り返って見やすいようになっています。 ●支援終了時に昼食を行い、活動の振り返りや見直し、ヒヤリハットの共有をしています。ヒヤリハットを活用して、ケガや事故が無いように努めています。 ●定期的に1on1ミーティングを実施することで、各個人の達成していることの確認のみならず、困りごと可能な限りタイムリーにアプローチできており、PDCAサイクルをまわしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●改善点を話して次に繋がります。 ●繁忙期でのフォローアップには効率化が求められると感じるが、IOTなどテクノロジーで補填できるものは引き続き積極的に取り入れて行く。近々ではご利用者様のご利用予定表を電子化する為の評価中です。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●今年度よりオンラインで評価表を提出できるに変更し、90%以上の回答を頂きました。 ●昨年度の評価表を再確認し、出来た項目と出来なかつた項目の洗い出しを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者の方より頂いた声をいかに反映させるか、スタッフで話し合い、支援内容の充実にも努めて参ります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年本部ホームページにて公表しています。 ●今回は集計するにあたって、保護者様に紙面だけでなく、Google formで回答して頂けるように選択肢を増やしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本部のホームページ上では階層が深いので、保護者の方に共有する際には別のホームページでも共有できるように検討します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ●本部の方に来室頂き、業務の確認やアドバイスを頂いています。 ●本部のSVが定期的に訪問して頂き、改善点などのアドバイスを頂けるようにしています。また、ボランティア活動でお越し頂ける方にも客観的なご意見を拝聴して参考にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●面談等で保護者様から頂いたご意見・ご要望を基に、日々の支援や活動内容を見直し改善しています。 ●相談員や園などの地域の方とのコミュニケーションも増やし、児童の成長に繋がっています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		<ul style="list-style-type: none"> ●研修に複数人で参加する事で、スタッフ同士が同じ視点で支援出来るように工夫しています。 ●他事業所との関わりを持ち、具体的な問題について話し合う機会にしています。 ●入職時の指導員研修に始まり、各種の研修を用意しています。また四半期毎の職員による研修も定期的実施してサービスの質の向上に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全員が同じものを見る機会が減っている為、見られる機会を増やしていきます。 ●全職員が同じ研修に参加する事は難しいが、記録だけでは周知が難しいです。市等で実施されている研修に関しては、研修報告書を作成した上で、参加者が全体に報告して内容を周知していきます。 ●繁忙期に職員の研修に割く時間が不足がちである為、突発的な児童のお休みなどでできた隙間時間を有効活用していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9		<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフの経過表等の記載と支援計画更新の時期に面談を行い、内容を文字起こしして全スタッフに共有し、その上で作成しています。 ●年齢的に自身での訴えが難しい為、より丁寧にご家庭との情報共有をしています。保護者様に「お聞き取りシート」や「面談」にご協力頂き、ニーズの確認をしています。 ●面談時に現場の職員を同席させることで、より客観的な分析ができるように工夫しています。定期的な打合せも継続的に実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●日頃の様子がわかるように経過表は小まめに記載していきます。 ●面談日程などのご希望を伺いながら、ご家庭の事情に合わせて実施できるように努めて参ります。 ●児童発達支援センターとの定期的な情報交換を実施していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ●本部のアセスメントシートを活用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本部作成のアセスメントツールを活用しつつ、より教室で使いやすい形を検討していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●レクやプログラム、お友達との関わり方、その他食事や排泄等を通して児童さんを見たと記録している経過を元に、作成しています。 ●複数人で確認しながら適切な設定が出来ているかを検討して、項目や内容を決定しています。 ●集団プログラムにおいても5領域に分類しながら、構成されることで、より目的意識が強いプログラムを実施することができ、支援内容とうまくリンクすることができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も5領域を活用しながら、当面は現状の形で進めていきたいと考えています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●支援にあった内容を、プログラムやレクリエーションに取り入れています。 ●支援計画の内容をスタッフが確認しながら、個別活動や環境設定に活かしています。 ●支援経過記録の背景紙に支援計画を掲示する事で、スタッフがいつでも確認できる状態にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●支援計画に沿った支援をするための準備を怠らないようにする。ねらいを明確にしたプログラムを立案していきます。 ●支援計画の内容が適切であるのか、日々確認します。成長が進んだり変化が見られた際には、早めの見直しや作成を行い、計画を更新させて頂きます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ●プログラム案の作成時に相談しています。また月のプログラムを決める際にも、児童さんの様子に合わせてどんなプログラムが適切か等を相談し合っています。 ●プログラム案を作成し、複数で共有や確認、見直しが行いやすいシステムを採用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童さんの成長に合ったプログラム内容となっているか、プログラム内容をより充実させる方法等、意見が挙げやすい環境を整えます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が楽しいと思える内容を考えたり、同じ内容にならないように情報共有しています。 ●週毎のバランスや曜日毎の児童さんのニーズに合うように、また活動の種類が偏らないように工夫しています。 ●以前取り組んだ内容を確認し、別のものにして変化を加えたりしています。 ●在籍児童さんに合わせた活動となっているか、毎月見直しを行い、定期的にプログラム予定を組み直しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフと情報共有しながら、パターン化しない仕組みを作り進めます。表などにまとめて実施可能な内容を明確にしていきます。 ●児童さんやご家庭のご希望も伺いながら、「楽しい」活動を通して成長に繋がられるように努めます。 ●新規児童さんが増えてきたので、より細かい見直しが必要となります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ●進歩が控えている児童さんや、食事が課題な児童さんなど、その児童さんに応じて個別活動も設定しながら狙いを持って対応しています。 ●ご家庭と相談させて頂きながら、体幹や言葉の発達、集団活動を組み合わせた計画作成を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●個別課題の内容を精査し、より児童さんの成長に繋がられる課題設定を行い実施していきます。

関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		<ul style="list-style-type: none"> ●時間配分、隙間の時間にやれることを想定して、児童さん来室前に準備しています。 ●朝礼やプログラム案を活用し、当日の児童さんに合わせて柔軟な対応が出来るようにスタッフ間で情報を共有しています。 ●朝礼で社是、運営理念の読み合わせを実施し、日々の担当が1日の流れを説明する中で、当日の欠席も加味して調整しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●出勤予定により全員で共有できないことがあります。早めにプログラム案を提出し、共有し、疑問があれば早めに解決しておく事で、スムーズに当日を迎えられる体制作りが必要であると考えています。 ●出勤時間の違いや、送迎等で十分に共有出来ていないときもあります。該当するスタッフは自分から聞いたり、プログラム案を事前にしっかりと目を通して頂く事で、情報の共有を図ります。 ●プログラム案に内容や席順を具体的に記載して、活動がスムーズに進行できるよう工夫していきます。 ●プログラム担当からフォローするスタッフに、何をフォローしてほしいか具体的に伝える事で、現場にいる全スタッフが共通の認識で活動を進められるようになると考えています。 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9		<ul style="list-style-type: none"> ●児童さんの良かったところを報告し合っています。経過表に記入する事で、当日欠動していたスタッフとも共有できるようにしています。 ●児童さんの様子を、成長や活動の「可能性」に着目しながら、振り返りを行っています。 ●終礼時では振り返りを必ず実施しています。必要に応じて振り返りをする内容を変更しながら工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●改善点を振り返り、次に繋げられるようにしています。 ●「〇〇が出来ない」ではなく「〇〇すればできる」を見つけてるように努めています。 ●終礼に参加できないスタッフとの情報共有が課題ではありますが、現状は数分でヒアリングしています。 	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●プログラム案や日報へ記録を詳しく、実施経過を改善しながら活用が出来ます。 ●成長・変化が見られたところを記録しています。 ●経過表の記録であったり、いまは終礼で「できることを気づいて差し上げる集団になろう！」という社是をベースとした振り返りを行い、記録しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必ずメモをとれるよう、なるべく携帯やメモを身に付けたり、近く置いて新しい情報を逃さない様にします。 ●個人の支援に対する経過表を活用し、勤務外の日の情報も共有していきます。 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9		<ul style="list-style-type: none"> ●毎月カンファレンスを実施して、児童さんの情報を確認、共有しています。 ●課題の達成具合や適正に応じて、更新予定月まで待たずに前倒しの見直しの提案やご相談をさせて頂いています。 ●相談員や通所している園とのコミュニケーションを行い、様子を伺いながら、計画の調整を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の気づきだけでなく、他のスタッフの気づきも知ることで児童さんの可能性を探っていきます。 ●今後も児童さんの変化や成長、困り事に気がつきながら、適切な支援が行えるように努めてまいります。 ●より多くの園などにコミュニケーションをとり、児童のモニタリングに活かしていきます。 	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		<ul style="list-style-type: none"> ●担当者会議が行なわれる際には、事前に現場スタッフの意見もヒアリングしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●最近ではサービス担当者会議の開催自体が無い為、開催された際にはきちんと対応できるように準備します。 	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●支援員さんや、保育園幼稚園、地域との連携を図っています。 ●見学にお越し頂いた際には、教室のみならず公園などの活動でも、お友達との関わり合いも含めて様子を見て頂いております。また、併用している園の先生も見学に来て頂いております。 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な連携の場を増やしていきます。 	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●ご家庭の同意をいただいた場合には、幼稚園や保育園にも支援計画を共有させて頂いたり、見学や訪問を実施しています。 ●支援内容の共有を相互で行っており、時にはお互いの場所に訪問して交流も行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●可能であれば、見学に行くなどで情報共有を図っていきます。 ●まだ行けていない園もあるので、定期的に交流が持てたらと思います。 	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●小学校への送迎の際に、学校の先生たちとお話ししたり情報共有しています。 ●特別支援学校などから依頼を受けた際には、積極的に情報共有や書類を作成しています。 ●入学前に必要に応じて小学校へのご挨拶を行い、相互理解を図っています。 ●学校公開や授業参観が実施される際には、学校の許可やご理解を頂きながら、積極的に訪問させて頂いていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●可能であれば見学に行かせて頂いたりして情報共有をしていきます。 ●近年は新型コロナウイルス感染症の影響で対面での情報共有を行なう機会が減っています。少しずつ戻していきたいと考えています。 	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ●草加市で行われる研修に積極的に参加し、知見を深めています。また研修内容の共有を、社内SNSを通じて行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も研修があれば積極的に参加していきたいと考えていますが、最近では研修に参加できる時間がうまく作れていません。オンラインで参加できる研修等も有効に活用しながら、学んでいきます。 	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ●児童館やリトミック、公園や地域のお祭りなどに出席する事で、地域の方と交流する機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の方々にもいつも温かい目でご理解、ご協力頂いております。今後とも積極的に交流の機会を設けて参ります。 ●園の方針もあろうかと思いますが、近隣の園との活動機会を増やしていきたいと考えています。 	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	5	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や児童館のお祭りに参加しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も地域のイベントを情報収集しながら、参加に繋げられるようにしていきます。 ●新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたので、積極的に参加できる機会を増やします。 	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●送迎時や連絡帳を活用して、日々ご家庭と情報共有しています。また児童さんの前で話にくい内容や、連絡帳に書ききれない場合は、LINEを使用して連絡が取れるようになっていきます。 ●モニタリング前には「お聴き取りシート」を事前に保護者へお渡しすることで、電話、対面、紙面での更新を可能にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●送迎時には当日の様子をお伝えするだけでなく、保護者の方からの話も聞き、内容によっては他のスタッフに報告、情報共有を図ります。また出来た事他に、身近な課題についてもお話ししていきます。 ●幼稚園や保育園を併用している児童さんに関しては、先生との連携も密に図ります。 	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ●面談や送迎時にご家庭の様子を聞き取り、教室での様子やアイテムを応用して、活用できそうな事や対応方法について提案という形でお伝えさせて頂いています。 ●ペアレントトレーニングとしては実施してはいますが、保護者の方々に支援方法をアドバイスは適宜行なっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフペアレントトレーニングについての知識不足を感じていますので、積極的に勉強していきます。 ●研修等に参加しながら知識や気づきを増やし、より広い視野を持ってお伝え出来るように努めてまいります。 	
	保護者への	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●契約の際、確認しながら話を進め、保護者の方にご理解頂ける様努めています。 ●契約時の説明に付随して、毎月の請求書とあわせて明細書を同封し、変更点がある場合には説明してしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●契約内容を全スタッフが理解しておく事で、有事に対応できる体制を整えます。
		33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		<ul style="list-style-type: none"> ●面談の際には保護者の方に丁寧にお話ししています。 ●6か月毎の更新時はもちろんの事、早めに達成出来た項目があれば、前倒して面談を実施し、支援計画の更新を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も児童さんの成長度合いに合わせて、柔軟に対応していきます。

説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		●面談実施前にお聞き取りシートを活用し、ご家庭等での情報を共有して頂き、面談で実際に保護者の方からの話を丁寧に聞きながら、提案という形で伝えさせて頂いています。	●ケースによっては、ご家庭の同意を頂きながら、相談支援員や他機関にも情報共有を行い、課題解決に向けて支援させて頂いております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8	●コロナ禍においてもアンケートを取っていますが、保護者会を求めているご家庭が少ない現状のなか、社労士の先生に障害者年金のセミナーを実施することで保護者同士が関わり合うきっかけ作りは行いました。	●行う場合は保護者の方の負担にならないようにする事が重要だと考えています。ZOOM保護者会の実施や、児童さんの様子を見ながら保護者会が実施できるように検討していきます。 ●保護者同士が話をする機会を創出します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9		●伝え漏れがないように、気になったことや聞いたことは報告するようにしています。 ●おもに送迎時に相談内容を伺うことがありますが、迅速に対応する為に、保護者も含めたSNS(LINE公式アカウント)の活用により、次のアクションが早くなりました。	●個人の判断で対応せず、必ず上長へ報告し対応するようにしていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		●毎月写真入りの会報を作成し、活動の様子や児童さんの表情がわかりやすくなるように工夫しています。 ●公式LINEアカウント、毎月のお便りや写真サービスなどを通じて、活動の様子を伝えています。	●連絡帳の電子化や、利用予約の電子化を検討しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9		●事業所の外で特定の児童さんの話はしません。 ●写真は共有後、速やかに削除しています。 ●事務所の施設、社員への個人情報の取り扱いの注意喚起を行っています。	●引き続き社員への個人情報の取り扱いの注意喚起を徹底して参ります。
非常時等の対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		●必要があれば伝達事項はひらがなを使用したり、個別に対応しています。児童さんとの意思疎通にはジェスチャーやハンドサインを使用しています。 ●公式LINEアカウントでの連絡手段を用意したり、面談もご家庭の都合にあわせて紙面、電話、対面の3つの選択肢を用意する配慮を行なっています。	●意思疎通が難しい児童さんとも、コミュニケーションが図れるツールを探っていきます。 ●次に行う活動について、引き続き児童さんにはシンプルにわかりやすく伝えるよう配慮いたします。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	6	●地域の行事には積極的に参加しています。	●新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の流行により、現在は地域住民を招待する機会を設けていません。地域の方を招待する時期や方法を検討して、実施の可能性を探っていきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	1	●毎月の防災訓練、嘔吐時の対応をスタッフで確認し共有できています。 ●毎月防災訓練をしています。またスタッフの研修も行っていきます。 ●各種マニュアルを用意しており閲覧できる状態にしています。保護者に対してはご契約時に説明させて頂いています。	●日頃からいざという時を頭に入れて支援にあたります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		●毎月児童さんを含めた防災訓練を実施しています。また救命救急の研修を受けています。	●防災バックの中身確認、あらゆる場合の避難経路、災害時のスタッフの動きを確認します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8	1	●アセスメントシートに記載しており、内容を確認してから支援に入っています。 ●ご契約時に確認を行なっています。また面談時に変わりがなければ確認を取っています。	●服薬や予防接種について、全ては把握しきれない為、全員が再度確認いたします。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	●食事の際の席順に配慮したり、おやつは持参して頂いています。 ●ご契約時に確認を行なっています。また面談時に変わりがなければ確認を取っています。	●スタッフ全員で情報を共有し、アレルギーが出た時の症状や対応方法を把握いたします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		●屋礼や終礼等、振り返りで確認しています。また状況を細かく記載しています。 ●終礼に出席できないパートさんには、帰宅前に報告して頂くようにしています。	●些細なことと思われることでも、気になったことをそのままにせず、ヒヤリハット事例集に残すようにしていきます。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		●一年に一度、必ず全職員に対して虐待防止研修を実施しています。 ●外部研修に参加し、虐待が起こりやすくなる環境や自分自身の気持ちについて確認しています。 ●適切な支援であったか振り返る	●気になった対応はすぐに話し合うようにして、虐待の芽を見逃さず、早急に対応いたします。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9		●安全確保のためにやむを得ず身体拘束を行った際には、状況をご家庭に報告するとともに、今後の対応について検討しています。 ●支援計画の作成時に必ず説明を行なっています。	●事業所前の道路等、屋外に危険な場所が多く存在しています。やむを得ない身体拘束を行う可能性がある為、起こった際にご家庭への報告を怠らないように対応して参ります。	